



令和8年度 利用の手引き



大館少年自然の家(わんパーク大館)

1974-2026



主催事業「ハイキング旅行Ⅰ」不動の滝（岩手県八幡平市）

～ 目 次 ～

1 利用について	(P1)	8 施設使用料	(P18)
2 予約から利用までの流れ	(P2)	9 食堂テーブルレイアウト	(P19)
3 研修計画作成の留意点	(P3)	10 キャンピングセンターレイアウト	(P20)
4 利用時の流れ	(P4～P9)	11 熊対策対応マニュアル	(P21・22)
5 主な活動プログラム	(P10～P13)	12 活動エリアマップ	(P23)
6 野外炊事の進め方	(P14・P15)	13 ご準備いただきたい物・服装の一例	(P24)
7 料金について	(P16・P17)		

秋田県立大館少年自然の家（愛称：わんパーク大館）

〒017-0023 秋田県大館市東字岩神沢31

【電話】 0186-43-3174 【FAX】 0186-43-3175

【URL】 <http://www.pref.akita.lg.jp/oodate-sizen/>

【E-mail】 one-park@pref.akita.lg.jp

【Facebook】 <https://www.facebook.com/pref.akita.oodate.sizen>

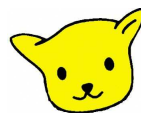


基本理念「少年に四季と感動を」

キャッチフレーズ「新しい発見へのアプローチ」

「山の学校 みんなの学校」

「汗いっぱい 友と語れ 自然に学べ」



大館少年自然の家（愛称：わんパーク大館）は、大館市役所東方約4kmの長根山山頂（標高203m）に位置し、大館市街地を含む大館盆地を一望のもとに眺められる。背後にあたる東部には大文字焼きで有名な霊峰鳳凰山（520.6m）が間近にそびえ、周囲には、風光明媚な秋葉山、山頂に雄大な岩石が隆起している岩神山がある。麓には広い岩神貯水池があり、その周囲にさくらの森、各種の草木を植えている香木園、愛鳥の森がある。奥地には紅葉で知られる長木溪谷があり、自然保護区に指定されている。

豊かな自然環境の下、自然に親しむ体験やたくましく生きるための野外活動、集団生活を通して、人間性豊かで心身ともに健全な青少年の育成を図る場として、昭和49年（1974年）10月15日に開所した。令和6年（2024年）に創立50周年を迎えた。



所章

S53.10.19制定

形… 円は、少年たちの和・友情・協調を表すとともに、大館（ODATE）の頭文字でもある。左右の木は県の木である秋田杉、中央の山は厳しさと未来への希望と少年たちの純真で素直な成長を願ったものである。

色… 杉と山の緑色は自然を表し、地色の白は自然のありのままの姿とけがれない清潔感を表している。

↓マスコットキャラクター①〈大ちゃん（だいちゃん）〉 1998(H10).10.16誕生



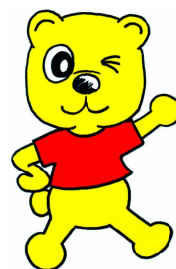
大館は秋田犬の産地、かつ「忠犬ハチ公」のふるさと。秋田犬をモチーフに生まれました。



マスコットキャラクター②→

〈文ちゃん（もんちゃん）〉

大ちゃんの頼れる相棒のクマさんです。



1 利用について

【利用できる団体等】

四季折々の豊かな自然環境や当施設の活動プログラム等を活用し、生涯学習の場としての利用を目的とする団体

- (1) 幼稚園・保育所・認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高校、特別支援学校、大学、各種学校
- (2) 青少年教育に携わる指導者
- (3) 自然体験・交流体験・生涯学習活動を計画している団体・グループ
- (4) その他、所長が適当と認める者

【同意事項】をご確認の上、利用申込みください。

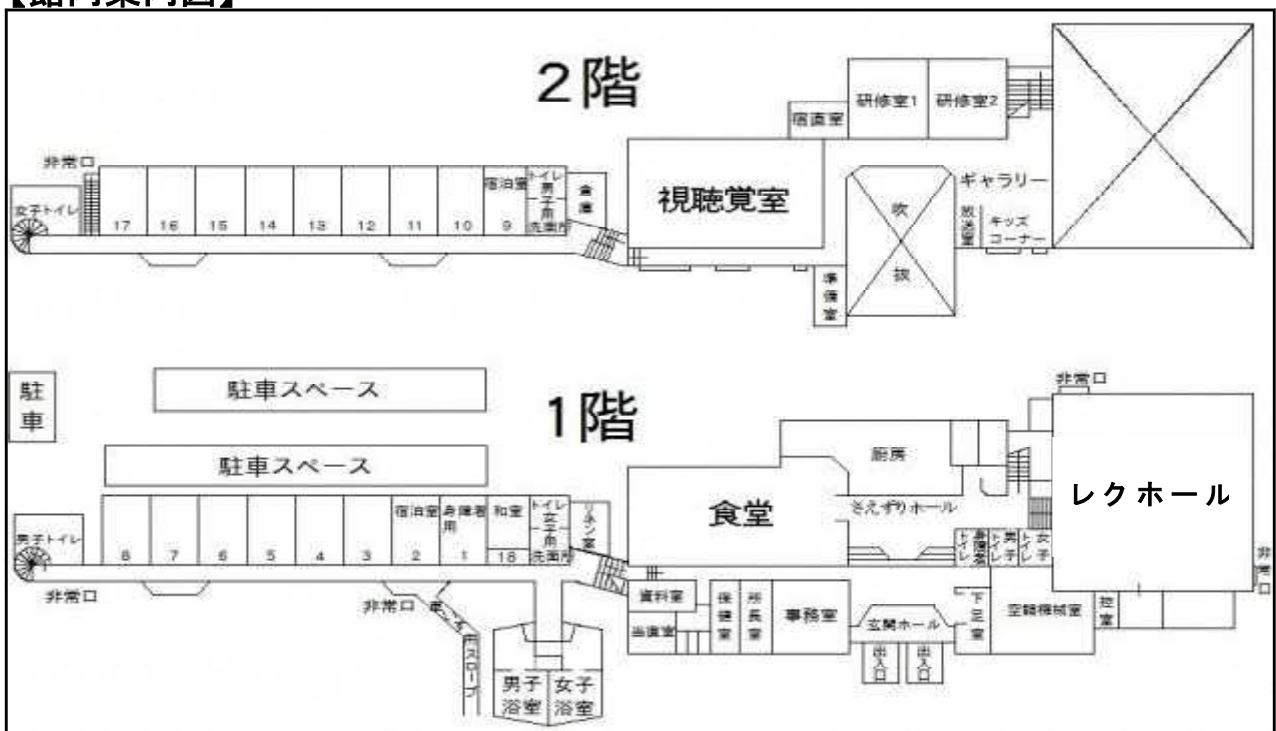
【同意事項】

- ・次の活動を目的とした利用はできません。
 - ①特定の政党を支持、又はそれに反対するための政治教育その他政治的活動
 - ②特定の宗教を支持、又はそれに反対するための宗教教育その他宗教的活動
(団体が所内及び所を利用しながら他の利用者や地域で勧誘活動をしたり、自らの団体の活動をアピールする活動等)
 - ③専ら営利を目的とした活動のための利用
(団体が所内や所を利用しながら物品等の販売や説明会をおこなう活動等)
- ・利用状況の確認のため職員が巡回することを承諾します。

【主な施設・設備】

- (1) 宿泊室・・・宿泊室16(ベッド各室12)、和室1(8畳)、身体障害者用洋室1(ベッド4)
- (2) 食堂・・・90席
- (3) レクホール・(20m×19m) クライミングボードあり
- (4) 研修室・・・2部屋(7m×8m) 収容人数各30名
- (5) 視聴覚室・・・1部屋(16m×9m) 収容人数100名
- (6) 浴室・・・浴槽(1.6m×2.8m×0.5m)とシャワー(男女各11)
- (7) 屋外施設・・・キャンプセンター、釜場、交流ハウス、屋外トイレ、テントサイト2、営火場2、A A P(あきたアドベンチャープログラム)設備

【館内案内図】



2 予約から利用までの流れ

(1) 来所利用 (日帰り・宿泊)

期日・期限	必要なこと	提出書類・内容等
1か月前までに	利用の問合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日の仮予約 ・自然の家のマイクロバス(28人乗り) ※(1)利用の有無の確認
<p>※(1)わんパーク大館を拠点に施設見学等に出掛ける際や川遊び場への移動、わんパーク大館と最寄りの駅・停留所等間の送迎にご利用いただけます。</p>		
利用日仮予約後、速やかに1か月前までに	書類の提出① (メール・FAX等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「様式1 利用申込書」 (※前年度中に利用申込済の団体は必要ありません。) →所長の決裁を経て、「利用決定通知書」がお手元に届くと正式に予約完了です。
<p>「利用説明会」 活動プログラムの一部体験、施設利用のルール・提出書類等の解説、利用日が重なっている団体間のスケジュール調整等を行います。 「日帰り」「宿泊」を問わず、入所利用される全ての団体に「利用説明会」への参加案内をお送りします。できるだけご出席ください。</p>		
開催日(予定)		対象となる利用期間
利用説明会1	4月16日(木)午後	4月23日～6月20日
利用説明会2	5月12日(火)午後	6月21日～10月31日
利用開始日の2週間前の正午までに	書類の提出② (メール・FAX等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「様式2 利用打合せ用紙」 ※該当する場合・「館内泊部屋割表」 ・「AAP実施前アンケート」 ・「様式4 マイクロバス利用申請書」 ・「食物アレルギー調査票」
<p>※利用団体の食事注文は、5名以上から承ります。</p>		<p>食物アレルギー対応について(詳細は別紙) ※食物アレルギーに関わるものを除去して提供できます。</p>
食事・飲み物の全キャンセル ※電話での連絡		<ul style="list-style-type: none"> ・2週間前の正午までにキャンセルした場合は、料金無料です。 ・それ以降にキャンセルした場合、食事・飲み物代の全額をご負担いただきます。(飲み物はお引き取りいただきます。)
利用開始日の7日前の正午までに	食事・飲み物の数の変更(数名) ※電話での連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・食事数変更(欠席者等による)の申請 ・7日前の正午以降、数の変更はできません。
利用開始日の3日前の正午までに	書類の提出③ (メール・FAX等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用申請書」及び「使用料減免申請書」※(2) 「利用申請書」及び「使用料減免申請書」の提出により人数が確定した後に、人数が減ったり利用をキャンセルしたりした場合、確定した分の使用料はお支払いいただくことになっています。人数が増えた場合は、追加でお支払いいただきます。「利用許可書」と「使用料減免承認書」は、利用最終日にお渡しします。 ※(2)は該当し希望する場合のみご提出ください。(P18参照)
利用当日	入所時の打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・(宿泊の場合)「活動のしおり」又は「宿泊者名簿」をご提出ください。 ・当日に欠席者が出た時は、自然の家職員にお伝えください。

<注> 提出期限が土・日・祝日に当たる場合は、その前日までにご提出ください。

(2) 出前講座の申込

1か月前まで	利用の問合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日の仮予約 ・大まかな活動内容の打合せ
利用日の2週間前まで	書類の提出 (メール・FAX等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「様式3 出前講座(講師派遣)申請書」 ※内容がAAPの場合のみ「AAP実施前アンケート」 →所長の決裁を経て、「利用決定通知書」がお手元に届くと正式に予約完了です。
<p>(※雨天時や昼食等でご利用予定の場合は、「(1)来所利用」で手続きをお願いします。)</p>		

○各種申請書・手続き用紙は「大館少年自然の家 ホームページ」からダウンロードできます。
インターネット検索『大館少年自然の家』<http://www.pref.akita.lg.jp/oodate-sizen/>
→『美の国あきたネット 大館少年自然の家』→『利用案内 各種申請書』

3 研修計画（活動プログラム）作成の留意点

(1) 「研修のねらいを明確にする」

研修計画を作成する際は、ねらいに沿ったプログラムを意識しましょう。例えば、登山を実施する場合に、ねらいが「自然と親しむ」なのか「仲間と協力する」なのかで、前後の活動内容や支援の在り方は変わってきます。「研修の目的は何なのか」「参加者のどのような姿を期待しているのか」を意識し、ねらいを明確にして、ゴールから逆算してみるとプログラムの選択や組立てがしやすくなります。

(2) 「ゆとりのある計画を立てる」

活動の合間にすき間の時間を取ることで、予定のプログラムが実施しやすくなります。特に時間を要すると思われる活動（鳳凰山登山や野外炊事等）の後に時間の余裕があると、子どもも引率者も焦ることなく活動ができます。利用の目的に沿って、ゆとりのある計画を立てましょう。

(3) 「荒天時のプログラムを準備する」

突然の雨や雷などで予定の野外活動ができない場合があります。荒天時のプログラムを立てておきましょう。様式2に記入した雨天時プログラムを代用することもできます。荒天時のプログラムを行う活動場所についても、他団体と打合せをお願いします。

(4) 「夜間（17：15以降）の活動は一斉で行う」

夜間は、複数グループに分かれての活動には対応できません。職員の支援が必要な場合は、一斉に行える活動（遅くとも20：30までに終了）をご計画ください。

(5) 「体験学習のサイクルを意識する」

「事前指導」→「体験」→「個々の気付き」→「振り返り」→「次の体験」といった活動のサイクルを意識することで、自分自身や集団への認識を新たにしたり、共通理解を深めたりすることができます。わんパーク大館での活動にも、教室や職場でのPDCAサイクルを当てはめてみましょう。

(6) 「安全対策を忘れずに行う」

「豊かな体験活動は安全から」と言われます。急病やけが人に対して、ご案内する病院・医院を準備しておりますが、緊急連絡体制や指導者の配置等の準備をお願いします。特に自主活動プログラムでは、利用説明会や事前踏査にて危険箇所を確認しておくことが望ましいでしょう。

(7) 「利用説明会等の事前相談を活用する」

原則として、全ての利用団体に「利用説明会」への出席をお願いしております。活動内容や施設の確認、活動場所の下見、利用日の重なる団体間の打合せ等、より充実した研修プログラムの立案に役立ててもらっています。

(8) 「利用の手引きを確認する」

引率者全員で「利用の手引き」を確認し、利用説明会での情報を全体に周知しましょう。全員が共通理解しておくことで、スムーズに活動を進めることができます。

4 利用時の流れ

【自然の家に着いたら】

(1) 入所手続き

自然の家に到着したら、代表者が事務室で入所の手続きをしてください。

宿泊利用の場合は、「活動のしおり」又は「活動計画が分かる文書」を1部提出してください。ようお願いいたします。「しおり」がない場合は、「宿泊者名簿」の提出をお願いいたします。

※入所時の確認事項 ①当日の人数変更（欠席者の有無）
②荒天や入所時刻の遅れによる活動の変更

(2) 駐車場、下足箱

宿泊棟裏側の駐車場をご利用ください。前庭への駐車は、緊急車両1台のみです。

【下足について】・日帰り利用とテント泊利用の方は、下足箱下のブルーシートへ

・館内泊利用の方は、使用する部屋の番号と同じ下足箱へ

※他団体が使用している場合は、一時的に補助下足等をご利用いただく場合があります。

(3) 入所式

団体側の計画で実施してください。前庭掲揚塔に団体旗を掲げることができます。レクホールでも旗の掲揚が可能です。

貸出し用のワイヤレスマイク、ポータブルアンプ、CDラジカセがあります。

(4) オリエンテーション（20分程度） ※館内泊の団体向け

館内（レクホールや視聴覚室等）で、施設内のルールやベッドメイキングについて説明します。ベッドメイキングをする場合は、さらに30分程度の時間が必要です。

テント泊（屋外）の場合は、入浴前や食堂利用前等に説明します。

(5) シーツと枕カバーの受取り ※館内泊の団体向け

浴室前の棚に団体ごとに準備してあります。「シーツ2枚・枕カバー1枚」が1人分です。引率者が立ち会い、枚数を確認しながら直接渡してください。（手渡し）

テント泊の場合は、テント設営後にシュラフ（寝袋）を配ります。

(6) 非常口・避難経路の確認

活動場所や宿泊室付近の非常口の確認をお願いいたします。館内数か所と各部屋には、「非常口・消防設備配置図」を掲示しています。地震や火事等で避難が必要な時は、放送でお知らせします。第2営火場が、「一時避難所」となります。

●緊急時、引率の方には、参加者の避難誘導と人数確認をお願いいたします。

●職員は「緊急放送と消防への通報」、「初期消火」、「館内の残留者の確認」を行います。

夜間は職員2名体制です。当直員は1階当直室に、宿直者（社会教育主事等）は1階事務室又は2階宿直室にいます。緊急時は上記の各部屋に入室していただくか、代表番号（0186-43-3174）に電話をお願いいたします。各部屋で応答できます。

玄関等の施錠は午後10時です。

昼夜関係なく、けがや病気が発生した場合は、直ちに事務室又は職員に連絡してください。

大館市立総合病院（0186-42-5370）や大館市休日夜間急患センター（0186-45-0223）を紹介いたします。 **大きなけがや病気 119**

【自然の家での生活】

(1) 標準生活時間

6時	7	8	9	10	11	12	13	14
就寝	起床・清掃・集い等	朝食	点検	午前の活動			昼食	午後の活動
	15	16	17	18	19	20	21	22時
	午後の活動			夕食	活動・入浴・振り返り等		消灯 就寝	

★食堂での食事時間は、標準生活時間の範囲でお願いします。
 朝食（7：30～8：30） 昼食（12：00～13：00）
 夕食（17：30～19：00）

- ・起床時刻は午前6時以降にお願いします。午後10時に玄関等、館内の施錠をします。
- ・午後10時消灯ができるように、余裕をもって就寝前の活動を終わるようにしてください。

(2) 館内での過ごし方

① 宿泊室内での飲食は、ご遠慮ください

- ・館内で飲食できる場所は、食堂、レクホール、視聴覚室、研修室、さえずりホールです。
- ・飲食をする場合は、職員へご連絡ください。宿泊室前廊下は、飲み物のみ可とします。

※夜間の熱中症対策として、就寝前や就寝中に、宿泊室中央(畳)で座って飲む場合は可とします。

② 節電にご協力ください

- ・使用していない部屋、トイレの消灯をお願いします。
- ・午後10時消灯のため、宿泊棟の廊下とトイレも消灯します。
- ・ドライヤーの同時使用は、宿泊棟も研修棟も各2台までです。（ブレイカーが落ちてしまう可能性があるため）男女浴室脱衣所に1台ずつドライヤーを設置しております。
- ・引率者の反省会等は、遅くとも午後12時までに終えて、各自宿泊室にお戻りください。

③ 入浴について（1サイクル20分が目安）

- ・浴室の利用は午後10時までです。午後10時にボイラーを停止しますが、余熱でシャワーは十分に使えます。引率者は、午後11時までに入浴を済ませてください。
- ・使用後は、椅子と洗面器の片付け、消灯をお願いします。
- ・浴室には、シャンプー、リンスはありません。
- ・風呂は追い炊き機能がありませんので、お湯が冷めたときは、お湯を足してください。その際、熱湯が出ますので、やけどにご注意ください。
- ・浴室と脱衣室の換気扇のスイッチは、使用後も切らないでください。
- ・登山や川遊び等の野外活動後にシャワーを使用できます。事前の連絡と様式2への記入をお願いします。野外活動で雨に濡れたり、汚れたりした場合は、ご相談ください。

④ 来た時よりも美しく

- ・使った場所や物は元どおりに戻してください。
- ・宿泊室の整理整頓、掃除をお願いします。掃除の仕方は、宿泊室（2～17号室）入口右側の掃除用具入れの扉に貼ってあります。
- ・退所日の朝に「部屋点検カード」（P9参照）で引率者による最終チェックをお願いします。朝の職員打合せ後に、職員による部屋点検を行います。
- ・宿泊室の入口にゴミ箱があります。ゴミは、退所時に、食堂と宿泊棟の間の踊り場にあるポリバケツに分別して捨ててください。

⑤ ゴミの始末について

燃えるゴミ・缶 ・ビン・塩化ビ	少量であれば階段踊り場のポリバケツに分別して捨てることは可能です。ただ、 <u>大きなゴミ、大量のゴミはお持ち帰り</u> ください。
--------------------	---

- ・当所に注文したもから出たゴミは、職員の指示に従って処分をお願いします。
- ・館内の自動販売機で買った飲み物の缶やペットボトルは、自動販売機横のゴミ箱に捨ててください。階段踊り場にあるポリバケツには捨てないでください。
- ※弁当を持参した場合、食中毒防止の為、食べ残しはその日のうちに捨ててください。宿泊利用団体に限り、生ゴミ（残飯）は当所で処分します。袋にまとめて職員に渡してください。空容器等は、持ち帰りとなります。退所まで預かることもできますので、職員にご相談ください。袋に団体名を記入し、玄関の補助下足箱付近に保管します。

⑥ 事務室前の廊下を通る時は、来客や電話対応等があるため、静かにお願いします。

(3) ベッドメイキング

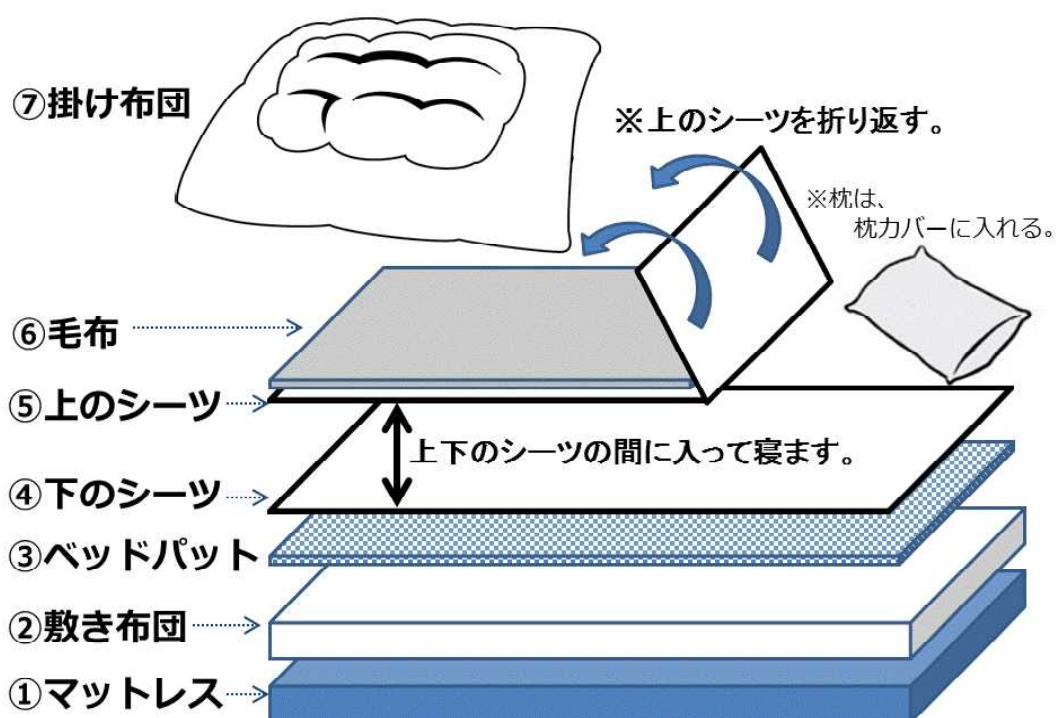
1部屋のベッド数12に対して、布団セットは9組又は10組となっています。

布団セットが足りない場合は、空いている部屋から運んでご使用ください。使用後は、元の部屋に戻してもらうようお願いいたします。

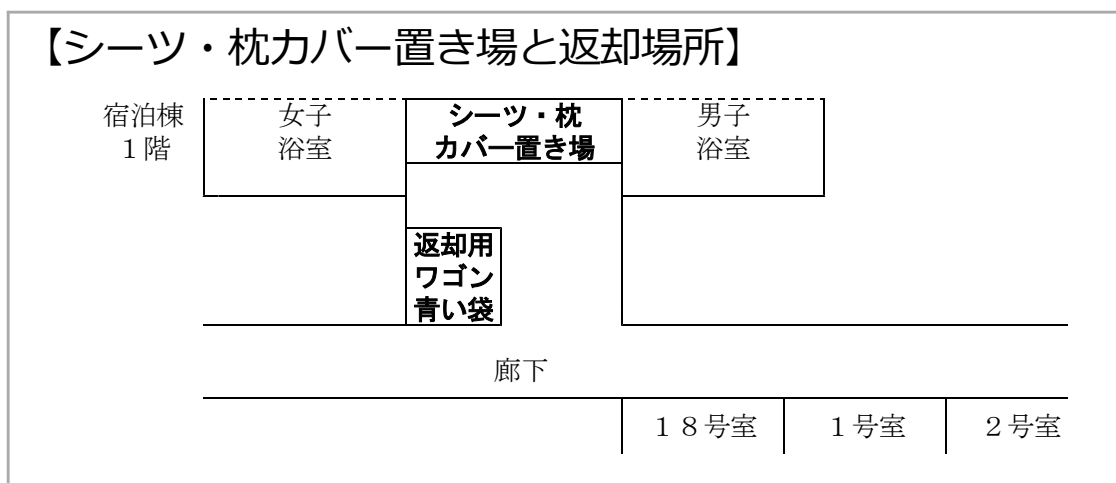
150名を超える団体の場合、一部、掛け布団と敷き布団のない布団セットで対応させていただきます。(掛け布団と敷き布団が150組のみのため)

<準備> ベッドメイクの仕方は、宿泊室の中にも掲示してあります。

- ①シーツと枕カバーを浴室前の棚から運びます。シーツ2枚、枕カバー1枚が1人分です。
- ②枕を枕カバーに入れます。
- ③マットレス、敷き布団、ベッドパット、シーツ(2枚)の順に敷きます。
- ④その上に掛け布団(場合によっては毛布)を敷き、上になっているシーツの首の部分を折り返します。寝るときは、シーツとシーツの間に入ります。※棚のある方が足。



【シーツ・枕カバー置き場と返却場所】



<使用後> 布団のたたみ方は、宿泊室の中にも掲示してあります。

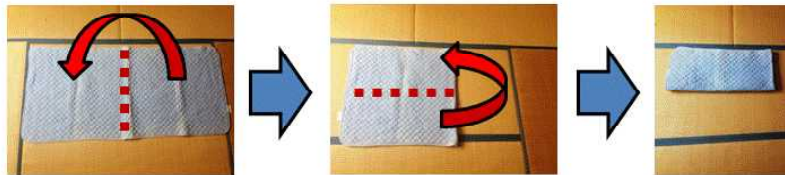
- ①枕カバーとシーツを使う前の大きさと同じくらいにたたみます。
- ②浴室前廊下ワゴンの青い袋に枕カバーとシーツを分けて入れます。
- ③マットレス、布団、ベッドパット、毛布を元のように重ねます。

★鼻血やインク、尿等で、布団やシーツ、枕カバーが汚れたときは必ずお知らせください。

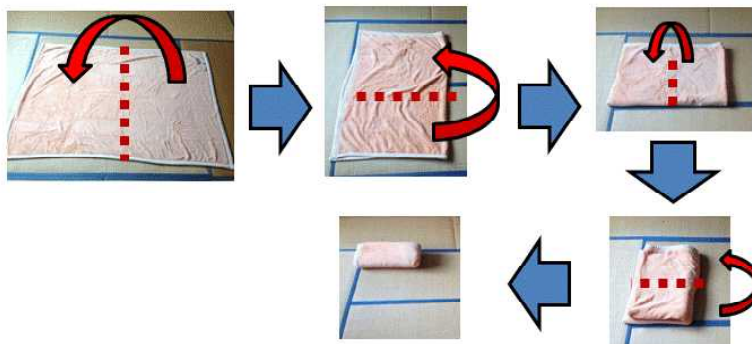
- ④退所日の朝に、職員から部屋点検（布団のたたみ方や清掃、整頓）を受けます。

【たたみ方】

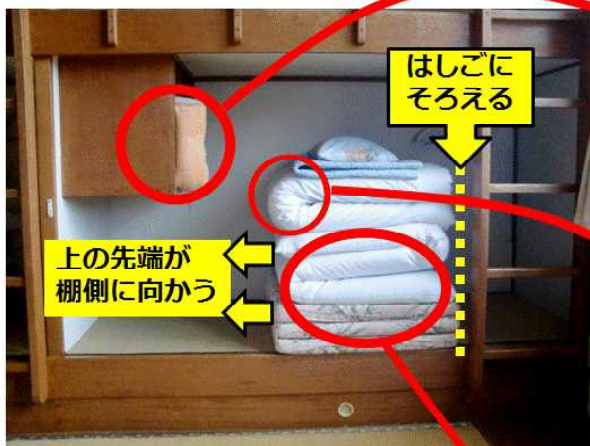
ベッドパット・掛け布団（2回たたむ）



毛布（4回たたむ）



【整頓の仕方】



毛布は棚へ



折り目が棚側に向かう



上の先端が棚側に向かう

各部屋のふとんセット数

- 1号室…2セット
- 2～5号室…10セット
- 6～17号室…9セット

不足の場合は、他の部屋から移動してください。
使用後は、元の部屋に戻してください。

(4) 食堂の利用について 昼食・夕食⇒弁当形式、朝食⇒ワンプレート形式

- ・食堂はセルフサービスです。準備と後片付けにもご協力をお願いします。
1回目の利用時に職員が作業手順について説明します。
- ・あらかじめ食事係を決めてください（1班につき1名）。マスクをご持参ください。

< 準備 >

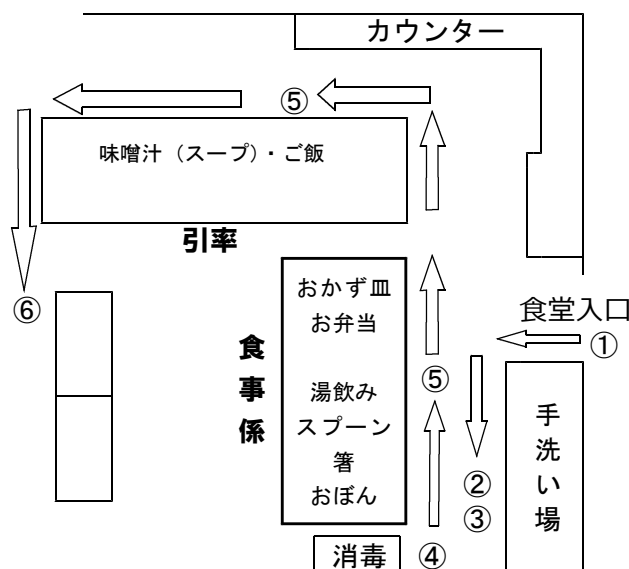
15分前、食事係は食堂へ

※利用団体の実態にあわせて、早めに入室されても構いません。

- ①手を洗います。（液体石けんで手洗い→ハンカチで手を拭く→アルコール消毒）
 - ②職員の説明を聞きます。食事のメニューを確かめましょう。
 - ③黄色の布巾を濡らして固く絞ってから、自分の班のテーブルを拭きます。
黄色の布巾は、自分の班のテーブルの隅にたたんで置きます。
 - ④ピッチャー（氷入り）に食堂の水道水を入れて、テーブルに置きます。
 - ⑤その後は、食事係以外の利用者の案内や配膳の手伝いをします。
- ※引率者に、朝食時はご飯と味噌汁、夕食時はスープの盛り付け等をお願いします。

< 配膳 >

5分前、全員が食堂へ



- ①食堂入口に順番に並びます。
マスク着用をお願いします。
- ②手を洗います。（液体石けん使用）
- ③自分のハンカチで手を拭きます。
- ④手指をアルコールで消毒します。
- ⑤お盆を取り、箸、スプーン、湯飲み、お弁当等をのせます。
※朝食の場合は、お盆の上に、箸、湯飲み、おかずの皿、ご飯、味噌汁等をのせます。
- ⑥自分の席につきます。
「いただきます」

< 後片付け >

- ①配膳のときの逆の動きで、同じ食器やゴミ、食べ残しを所定の場所に入れます。



- ・ご飯粒や食べ残しを食器や容器から取り除きます。
- ・食べ残しは、写真左端のような容器に入れます。
（ご飯、おかず、味噌汁等、飲み残した水も可）
- ・食器ごとに分けて、かごに入れます。
※弁当は容器とふたを分けて、所定の場所に置きます。
- ・お盆は、黄色い布巾で拭いて返却します。
- ・お盆を汚したときは、手洗い場で洗い流してから拭いて返却します。

- ②【食事係】黄色の布巾でテーブルを拭きます。使い終わった布巾は水道水ですすいで、固く絞ってから元の場所に返します。
- ③【食事係】テーブル・いすを整頓します。テーブルの下も確認してください。
食べこぼしがあれば、掃除をします。掃除用の雑巾は、手洗い場の下にあります。
- ④【食事係】食事係全員で片付けが終わったことを確認してから解散します。

【退所するとき】

(1) 部屋点検

- ・利用最終日の朝に、「部屋点検」を行います。
朝の職員打合せ後（**8時45分**）をめに、職員が各部屋に行きます。
- ・職員の点検前に、必ず引率者による確認をお願いします。（部屋点検カードを参照）
- ・点検時には、部屋に荷物が無い状態にしてください。
- ・点検時は、必ず各部屋の代表者又は全員と引率者の立ち会いをお願いします。布団のたたみ方が間違っていた場合は直してもらいます。

忘れ物がないように、チェックをお願いします。

寝具を汚してしまった際は、お知らせください。

※点検後に、宿泊室を利用することはできません。

部屋点検カード			
団体名			
利用日	月	日	号室
点検すること			引率
①	シーツとまくらカバーを、浴室前の青い袋に入れましたか？（シーツとまくらカバーは別の袋に）		
②	ふとんをきちんとたたんで、正しく重ねましたか？		
③	ハンガーは、ベッドにひとつずつありますか？		
④	忘れ物はありませんか？ （ベッドのたな、布団と布団の間、洗面所などによくあります。点検を忘れずに！）		
⑤	窓のかぎをかけ、ターテンどめをしましたか？ ※暑い日は、窓を開けて風通しをよくしてください。		
⑥	そうじ機・そうじ用具をきちんとしましたか？		
⑦	部屋の入口、たたみはきれいですか？ （ごみは落ちていませんか？）		
⑧	館内の何かをこわしたり、ふとんに鼻血をつけたりしていませんか？ （先生かわんぱくの職員に必ず教えてください。）		
・そうじ係や班長が、□の中に○でチェックしてください。 ・その後、引率の方が点検してください。 ・この用紙は、返却不要です。団体側で処理なされて結構です。			

(2) 活動に使った場所の片付け

状況に応じて、使用した物品の片付けをお願いします。
忘れ物がないように、見届けをお願いします。

(3) 退所手続き

納品書、請求書、振込用紙及び支払い方法についての書類をお渡しします。職員が引率者へ書類を届ける場合もありますが、退所式前に、事務室までお越しください。

退所後、10日以内に料金納付（払込）を終えてください。遅れる場合は、直接、業者に連絡をしてください。自然の家では、現金による支払いを取り扱っておりません。

なお、利用料支払手数料は、全てについて利用者の負担となっております。

内 容	対 象 団 体	支 払 い 方 法
利用許可書	全ての団体	—
使用料減免承認書	減免の対象団体	—
使用料に係る納入通知書	減免なしと半額減免の対象団体	銀行窓口納付
食事代	食堂（野外炊事も）を利用した団体	秋田銀行払込
シーツクリーニング代	シーツ・枕カバーを使用した団体	郵便局払込
シュラフクリーニング代	シュラフを使用した団体	郵便局払込
創作活動材料費等	創作活動・キャンプファイヤー・野外炊事（薪・炭）を行った団体	郵便局払込
★曲げわっぱ作り（パン皿）	★この活動のみ、外部講師への当日現金払いです。 支払い等については、講師の方と直接打合せをお願いします。	

(4) 退所式

団体側の計画で実施してください。

(5) 利用団体代表者アンケートにご協力ください。

退所手続きの際に「利用団体代表者アンケート」をお渡しします。2週間以内をめにFAX又はメール等で送付して下さるようお願いいたします。

5 主な活動プログラム

(1) 野外活動 ※時間は目安です。人数・天候によって所要時間は変わります。

No.	プログラム名	時間	活動内容
1	登山 鳳凰山	6時間前後	大館の秀峰。「大」の字（大文字駒形）の火床見学もできます。 Aコース6時間～ ※昼食時間を含む （長根山大駐車場～貯水池～御成婚の森経由～自然の家） Bコース7時間～ ※昼食時間を含む （自然の家～秋葉山～沼のくぼ経由～自然の家）
2	秋葉山	90分～ 3時間	Aコース90分～（自然の家～秋葉山の往復）※昼食時間含まず Bコース2時間～（自然の家～秋葉山～貯水池～自然の家） Cコース3時間～（自然の家～秋葉山～沼のくぼ～自然の家）
3	ウォークラリー （長根山・秋葉山周辺 A～Dの4コース）	A・Cコース 2時間～ B・Dコース 3時間～	コマ地図を見ながら、10個のチェックポイントを探します。問題得点と時間得点の合計点を競います。3～5分間隔でスタートします。 B・Dは、ロングコースになります。
4	グリーンウォッチング （秋葉山方面～キャンプセンター～自然の家）	2時間 （ミニコース 1時間）	コース図と写真シートを見ながら、番号プレートが付いている樹木を見つけ、木の名前を答えます。樹木を知る学習にもなります。 ミニコースは、自然の家とキャンプセンター周辺となります。
5	ナンバーウォーク	1～1.5時間	コース図を見て、エリアごとに隠された得点カードを探します。見つけた合計点数を競うゲームです。
6	フォトハイク	1～1.5時間	コース図と写真シートを見て、写真を撮影した20箇所を見付けます。
7	川遊び・カヌー体験 （夏季：6月第3週 ～9月第2週）	2時間～	活動場所は長木川です。ライフジャケットを着用して活動します。水着、ウォーターシューズ等をご準備ください。活動場所までは徒歩で30分です。所バスの利用も可能です。
8	あきたアドベンチャー プログラム（AAP）	2時間～ ※3時間以上 が効果的	交流ゲームや屋内外の施設を使って課題に挑戦しながら、参加者の仲間づくりや信頼関係づくりをします。
9	森のレストラン （幼保～小学校低）	1～2時間	拾い集めた木の葉や木の実・枝等を食材に見立てて盛り付け、料理を作る活動です。完成した作品は写真に撮って残します。 材料を持ち帰る袋をご準備ください。
10	森の宝箱 （幼保～小学校低）	40分	事前に準備した空き箱に、森で収集した木の実や葉などの自然物を入れて、自分だけの宝箱をつくります。
11	森のビンゴ （幼保～小学校低）	1時間	身近な自然をテーマに五感を働かせ、自然の中にある様々なものを見付け、ビンゴを完成させていくゲームです。
12	どうぶつなかよし たんけんたい （幼保～小学校低）	1時間	生き物が描かれたプレートを見付け、そこに書かれたお題をクリアしていきます。友達と楽しみながら身近な自然と触れ合える活動です。
13	火起こし体験	45分～	舞切り式火起こし器を使い、自力で火を起こします。1セット2～3人で活動します。 野外炊事のかまどの火に使うこともできます。
14	トーチ棒作り	45分	トーチ棒を自然の家で作ることもできます。 「綿のタオル、棒、針金」をご準備ください。 ペンチは自然の家にあります。出前講座では、出前講座先でペンチをご準備ください。

No.	プログラム名	時間	活 動 内 容
15	野外炊事	3.5時間～	カレーライスの場合、「調理」「釜場」「飯ごう」の3グループに分かれて行います。 他にもきりたんぽやねじりパン、キャンプ飯の体験も可能です。 (詳細はP14・15)
16	テント設営・撤収 (3～5人用)	設営1時間 撤収①30分 (テント干し) 撤収②30分 (テント収納)	テントと銀マット等を貸し出します。第1テントサイトに20張、第2サイトに12張ほど立てられます。ソロテントも貸出可能です。 撤収は、時間をおいて2段階で行います。 館内(レクホール等)でもテント泊ができます。
17	キャンプファイヤー	1～1.5時間	炎を囲んで歌ったり踊ったり語り合ったりしましょう。営火場は2か所(上、下)あります。 「火の神」「火の巫女」の衣装等を貸し出します。 <u>トーチ棒は持参してください。</u> (人数分+儀式用6本必要です。)
18	天体観察	30分	夜空を見上げて星座や星を見付けたり、天体望遠鏡を使って月や星を観察したりします。

(2) 屋内活動

No.	プログラム名	時間	活 動 内 容
1	キャンドルファイヤー	1～1.5時間	キャンプファイヤーの屋内版です。手持ち燭台、中央の大きい燭台があります。 <u>ろうそくは持参してください。</u> 長さ等の目安は、 〈個人手持ち用〉約8cmを人数分。 〈中央燭台用〉大18cmを5～6本、 小8cmを20本程度。
2	室内AAP(あきたアドベンチャープログラム)	2時間～	野外で行うあきたアドベンチャープログラムとほぼ同様の内容で行うことができます。
3	所内ハイク	1時間	所内に隠された「だいちゃんカード」を探し当て、問題を解いて回るゲームです。
4	所内ナンバーウォーク (幼保～)	1時間	所内に隠された「得点カード」を探して、合計点数を競うゲームです。
5	絵カードビンゴ(幼保～)	30分～	所内に掲示されている果物や動物の絵を探します。※絵カードには「なぞなぞ」もあります。
6	カラフルだいちゃん (幼保～)	30分～	所内に隠された、いろいろな色・大きさの「だいちゃん」のシルエットを探します。
7	スポーツクライミング	30分～	高さ4mのクライミングボードを自力で登ります。内ズック着用で行います。
8	わんパーク大館版 モルック	30分～	モルック(棒)を投げて、倒したスキttl(ピン)の得点がちょうど30点(又は50点)になると勝ちです。屋外用のモルックもあります。
9	室内遊具 各種		輪投げ、スカイリング、コーンホール、フラフープ、長縄、スマイルボウリング、大型ジグソーパズル、グラウンドゴルフ、バドミントン、卓球、卓球バレー、各種ボール等
10	伝統的な遊び道具 各種		剣玉、だるま落とし、お手玉、ヨーヨー

(3) 創作活動

① (小学生高学年～中学生向き)

No.	プログラム名 (素材)	制作時間	活動内容【ご準備いただくもの】
1	曲げわっぱ作り (杉) 〈数名～50名程度〉	2時間	伝統工芸士 (外部講師: りょうび庵) からの指導を受けながら、パン皿を作ります。 ご希望の場合は、遅くとも1か月前までに自然の家にご連絡ください。 【軍手】
2	竹のペン立て (竹)	1.5～2時間	1本の竹と杉板から自分だけのペン立てを作ります。のこぎりを使用します。 【軍手】
3	焼き板工作 (杉)	2時間	1枚の杉板から木目調壁掛けを作ります。のこぎり、ガストーチ、絵の具等を使用します。 【軍手】
4	焼き板フォトケース (杉)	2時間	No. 3で作った焼き板に、ハガキ大のプラ板を画鋸で留めて写真を飾れるようにします。作り方は、焼き板工作とほぼ同じです。 【軍手】
5	絵付けオカリナ (陶器)	2時間 ※演奏指導を含む	真っ白なオカリナに絵を描いたり色を付けたりして、自分だけのオカリナにします。 必要に応じて演奏指導も行います。
6	WA ROCK (石)	1時間	西オーストラリアで生まれた自然遊び。川原の石に絵や字をかき、交換所で石を交換します。この周辺では阿仁地域から広がりました。 ※使用する石は、ご持参ください。

② (幼児～小学生向き)

No.	プログラム名 (素材)	時間	活動内容
1	プラ板キーホルダー (プラスチック)	1時間	プラスチック板 (13×18cm) に好きな絵や字をかき、トースターで加熱すると完成です。 <u>1人分2枚セット</u> です。
2	竹とんぼ (竹)	30分	絵を描いたり色を付けたりして竹とんぼを作ります。軸を差し込むだけで、竹を削る作業はありません。 <u>1人分2個セット</u> です。
3	万華鏡 (紙)	40分	紙筒と反射板などで万華鏡を組み立てます。ビーズを中に入れることで美しい模様が見られます。

(4) 防災教育関連活動 ※時間は目安です。人数や集団の特性によって変わります。いくつか組み合わせでの実施も可能です。

No.	プログラム名	時間	活動内容 【ご準備いただく物】
1	ポリ袋調理体験 (カレーライス)	3時間半 ※準備~食事、 片付けまで	ポリ袋を使用して調理します。屋内でも、屋外でも活動できます。ポリ袋炊飯のみの実施も可能です。鍋やカセットコンロ等を貸出できます。
	食材1人分の目安	米0.5合・豚肉30g・じゃがいも1/2個・にんじん1/3本 玉ねぎ1/3個・カレールウ1と1/2個・水100cc	
	【ご準備いただく物】	炊飯用とカレー用のポリ袋2枚・コンロ用ガスボンベ台数分 食器用ポリ袋・ゴミ袋・食材※レシピがありますのでご相談ください	
2	毛布担架体験 & 搬送法講習	30分	倒れた人を運びたいのに「担架がない」。毛布を担架代わりにして、安全に運んだり運ばれたりします。特別な道具を使わずに家庭や身近にある物を使って、搬送する体験をします。
3	テント設営・撤収	1時間	災害が起きたら、避難所でテント生活をする事も予想されます。実際にテントを設営して、避難所生活を体験できます。テントの撤収作業も体験してもらいます。 テントは、ファミリーテント(3~5人用)とソロテント(1~2人用)があります。
4	ロープワーク	30分	ひもの結び方をいくつか覚えておくと、非常時に限らず何かと便利です。
5	紙食器作り	30分	非常時に「食器がない」。そのような時のために新聞紙やちらしで簡易の紙食器を作ります。 【新聞紙、ちらし】
6	紙スリッパ作り	30分	非常時に「履き物がない」。そのような時のために新聞紙やちらしで簡易のスリッパを作ります。実際に履いてみて、歩く体験もできます。 【新聞紙、ちらし】

〈参考〉大館市の学習・体験関連施設

自然の家を拠点に大館市内の施設を活用する場合、所バス(大ちゃん号 28人乗り)を利用することができます。時間は、自然の家から所バスでの片道移動時間の目安です。

<p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大館郷土博物館 8分 ・秋田三鶏記念館 8分 ・秋田犬会館 10分 ・秋田犬の里(ハチ公銅像) 15分 ・桜櫓館 8分 ・鳥潟会館 20分 ・大葛金山ふるさと館 35分 <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝谷地湿原 植物群落 15分 ・長走風穴 高山植物群落 25分 ・矢立峠 天然秋田杉 35分 <p>【公園・登山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂城公園 8分 ・石田ローズガーデン 8分 ・市民の森 25分 ・田代岳登山口 90分 	<p>【スポーツ施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長根山運動公園 3分 ・大館樹海ドーム 6分 (ニプロハチ公ドーム) ・大館市樹海体育館 6分 (タクミアリーナ) <p>【体験プログラム等】</p> <p>《きりたんぼづくり体験》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽気な母さんの店 20分 <p>《大館曲げわっぱづくり体験》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴田慶信商店 15分 ・りょうび庵 8分 <p>【職場体験】</p> <p>※市内の職場訪問・見学</p> <p>【施設見学】</p> <p>市内の各種企業、官公庁、公共施設、幼保・小学校・高校・大学等</p>
---	--

6 野外炊事の進め方

(1) 事前指導

①安全面の注意

- ・移動の際は走らない。
- ・やけどに注意する。軍手（綿）、長袖、長ズボンの着用。かまどの前に座らない。
- ・刃物（包丁、ピーラー）の扱いに注意する。

②衛生面の注意

- ・手洗い後、各自清潔なハンカチやタオルで水分を拭き取り、アルコール消毒をする。
- ・調理用具は、洗剤を使ってしっかり洗ってから使用する。
- ・食材にしっかり火を通す。
- ・使用後の包丁とまな板は、使用後すぐに汚れを落とし、完全に水気を拭き取ってから、職員に返す。（切る作業は野菜のみ）
- ・使用後の鍋、食器等は、確実に汚れを落とす。乾いたふきんやキッチンペーパー等で、水気が残らないように拭き上げ、元の場所に戻す。（次に使用する団体への思いやり）
☆引率者は、使用した場所と用具の丁寧な点検をお願いします。

③班編制

- ・班の人数は6名～11名でお願いします。
- ・引率の大人も、子どものグループに含めてください。
- ・班の数、各班の人数を忘れずに「様式2」にご記入ください。
例：7人×3班、8人×2班など
- ・中鍋で6～8人用、大鍋で8～11人用のサイズです。
- ・1つの飯ごうで、3合又は4合を炊きます。一人1合です。
- ・かまどは18セットありますので、班編制も18班以内でお願いします。

食材を、班ごとに
分けて提供します。



④役割分担

野外炊事活動の流れの一例（カレー）

調理係	調理器具を洗う ※マスクの着用をお願いします	食材を切る	→→	カレーの調理 流し場の片付けをする 食器類の準備
釜場係	かまどの準備 火を起こす	火の世話 薪の追加	→→	火の世話 薪を適量くべる
飯ごう係	飯ごうを洗う 米を量って洗う 水を適量入れる	飯ごうを火にかける 炊きあがりの確認 蒸らす	→→	食器類の準備 食卓の準備

(2) 片付け

①ゴミ処理の仕方

- ・自然の家に発注した食材に限り、ゴミや残飯は職員が処理します。
（ゴミ袋は食堂業者が準備します。）
- ・各団体で持ち込んだ食材等は、残飯も含め各団体で持ち帰りとなります。
- ・野外炊事のゴミの分別は以下のとおりです。
 - 黄色のかごに入ってきた物（食堂業者からの食材や袋等）
生ゴミ、残飯 ※カレーやご飯がたくさん付いたキッチンペーパーも可
 - 食器拭き上げ用に使ったキッチンペーパー ※少量のカレーが付いた場合も可
 - ペットボトル本体（回収は自然の家に注文した商品のみになります）
キャップを外し、つぶしてから入れてください。



②使ったものを元の場所に戻す。

- ・余った薪は、薪小屋へ戻してください。
- ・かまどは洗い場の下に収納します。重いので必ず2人で運搬してください。

③燃え残った炭と灰は、完全な消火を確認してから所定の場所へ捨てます。

- ・ほうきやスコップ、一輪車等をご利用ください。

(3) 野外炊事 活動時間の目安 (移動・準備・片付けを含む)

- ・カレーライスの場合 3～4時間
- ・きりたんぼ①の場合 4時間
- ・きりたんぼ②の場合 3時間

○初任者研修など、成人団体の場合、
 カレーライスは、約2時間
 きりたんぼ①は、約3.5時間
 きりたんぼ②は、約2時間

(4) 野外炊事献立

	献立	提供食材	調味料等
昼食・夕食	カレーライス	米(1人1合) ・豚肉・じゃがいも・人参・玉葱	・カレールウ・油
	※カレーライスは、「ルウなし」(団体で持参する場合)や、「ご飯付き」(炊いたご飯を提供する場合)のメニューあり		
	きりたんぼ① ※きりたんぼを作る：ご飯をくしに付けて炭火で炙る。	炊いたご飯(1人1合) ・鶏ガラ・鶏肉・ごぼう・舞茸 ・糸こんにゃく・ねぎ・セリ	・醤油・酒・塩
きりたんぼ② ※市販のきりたんぼを使う	きりたんぼ(市販品1人1.5本) ・鶏ガラ・鶏肉・ごぼう・舞茸 ・糸こんにゃく・ねぎ・セリ		
ねじりパン		<ul style="list-style-type: none"> ・材料は、ご利用団体で準備していただきます。(ホットケーキミックス、蜂蜜、アルミホイル、軍手をご準備ください。) ・まな板、ボウル、計量カップ、バーベキューコンロ、串等の用具を貸し出し、作り方の指導をいたします。 ※パンを炙るためのバーベキューコンロに使用する炭が必要です。炭は注文することもできます。料金表(別紙)をご確認ください。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;">パン生地を杉の串に巻き付け、炭火で炙って作るパン。きりたんぼのような見た目で、子どもに人気です。</div>			
キャンプ飯		<ul style="list-style-type: none"> ・材料は、ご利用団体で準備していただきます。(米、缶詰、調味料等好みの食材と軍手、燃料をご準備ください。) ・メスティン(2合炊き)、ソロコンロ、まな板、ボウル、計量カップ、等の用具を貸し出し、作り方の指導をいたします。 ※メスティンを加熱するための固形燃料(アルコール)や炭が必要です。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;">1人用のコンロとメスティンを使用し、好みの食材を入れたキャンプ定番の調理を体験。</div>			

(5) 団体で持参する物の一例 (カレーライスやきりたんぼの場合)

- スポンジ ふきん(食器用) ふきん(テーブル用)
- 水切りネット等 金たわし 食器用洗剤 クレンザー
- マッチ又は点火棒(例：チャッカマン等) 調理係用マスク
- キッチンペーパー(鍋、食器等の仕上げふき用)
- ゴミ袋(持ち込みの飲食物があるとき)
- ※食器用ふきん、スポンジ等は、係の人数分あると作業がはかどります。
- キッチンペーパーは、不足しないように多めにご準備をお願いします。

7 料金について

- ・料金の詳細は、別紙の料金表をご覧ください。
- ・全て消費税込みの料金です。
- ・各種クリーニング及び食事、創作活動材料は外部業者に委託しております。
- ・支払い方法は、食事は銀行振込、その他は郵便局から業者への払い込みとなります。
- ・どの支払いも、手数料は利用者の負担となります。

寝具クリーニング	
シーツ	・ 1人分はシーツ2枚、枕カバー1枚です。
おねしょマット	・ シーツの下に敷いて使用します。夜尿等が心配な場合はご利用ください。
シュラフ（寝袋）	・ テント泊の際に貸出しできます。
ベッドパッド	・ 汚した場合のクリーニング代です。 ※夜尿等の場合、しみ抜きが必要になるため、さらに料金がかかることがあります。
マットレス	
毛布	
掛け布団	
敷き布団	

野外活動等	
野外炊事用（薪）	・ 野外炊事（カレーライス・きりたんぼ）に必要です。
野外炊事用（炭）	・ 野外炊事の「きりたんぼ①」で、きりたんぼを焼くときや「ねじりパン」等に使います。
キャンプファイヤーセット	・ 1団体分の丸太と薪、灯油代を含みます。

創作活動		（※）出前講座不可
焼き板工作（※）	・ この3つは、雨天時プログラムに設定できます。 <u>活動しなかった場合、料金の支払いは発生しません。</u> （キャンセル可）	
焼き板フォトケース（※）		
竹のペン立て		
絵付けオカリナ	・ この4つは、雨天時プログラムに設定できますが、 <u>活動しなかった場合、買い取っていただきます。</u> （キャンセル不可）	
プラ板キーホルダー（2枚組）		
竹とんぼ（2本組）		
万華鏡	・ 持ち帰って、学校や家庭で作ることが可能です。	
曲げわっぱ（※）	・ 指導は外部講師（りょうび庵）です。	
（秋田杉のパン皿：直径18cm）	・ <u>支払いは当日現金払い</u> です。	

食事（食堂） ABCから選択していただきます。		
コース		備 考
A	朝食	・ 幼児向けの量です。
	昼食	・ <u>引率の大人は、BかCを選択</u> することができます。
	夕食	大人の分はBかCに <u>全員統一</u> していただきます。
B	朝食	・ 小学校中学年から高学年向けの量です。
	昼食	・ <u>引率の大人も、同じ量（B）</u> になります。
	夕食	
C	朝食	・ 中学生から大人を対象とした量です。
	昼食	
	夕食	

- ※「夕食はC、朝食はB」というように食事ごとのコース変更はできません。
 ※幼児、小学生、中学生以上等が一緒の団体は、どれか一つのコースに統一してください。

食事（野外炊事） ABCの別はなく「共通」です。		
	献 立	備 考
昼食	カレーライス	・ 野外炊事の全メニューに、一人当たり薪代が別途かかります。
	カレーライス（ご飯付き）	
夕食	・ カレーライス（ルウなし）	・ 食材は、P 15をご参照ください。
	きりたんぼ①（たんぼも作る）	・ きりたんぼ①は薪代の他、一人当たり炭代もかかります。
	きりたんぼ②（市販品を使う）	

- ※「カレーライス（ご飯付き）」では、食堂で炊いたご飯を提供します。
 ※当所で使用しているカレールウは、次のとおりになります。
 ・小学生以下 ⇒ パーモントカレー甘口
 ・中学生以上 ⇒ ジャワカレー中辛
 ※食物アレルギーがあり食べられない参加者がいる場合は、全員が「ルウなし」を選択し、団体で「ルウ」をご持参ください。

飲み物（500mlペットボトル）	
水	緑茶
麦茶	スポーツドリンク

- ※自然の家に注文した商品のみ、空のペットボトルを回収する袋をお渡しします。
キャップを外し、つぶしてから入れてください。

8 施設使用料

18歳以上の方（高等学校生徒又はこれに準ずる方を除く）がご利用する場合には、施設使用料がかかります。施設使用料は次のとおりです。

使用料一覧表

区分	使用料の額	
宿泊を伴う使用の場合	1人1泊	820円
宿泊を伴わない使用の場合	1人1回	200円

なお、学校団体や社会教育関係団体が利用する場合は、使用料減免の制度がありますので、該当する場合は「使用料減免申請書」の提出をお願いします。
提出書類の詳細については、P2「予約から利用までの流れ」をご参照ください。

金額は（宿泊/日帰り）

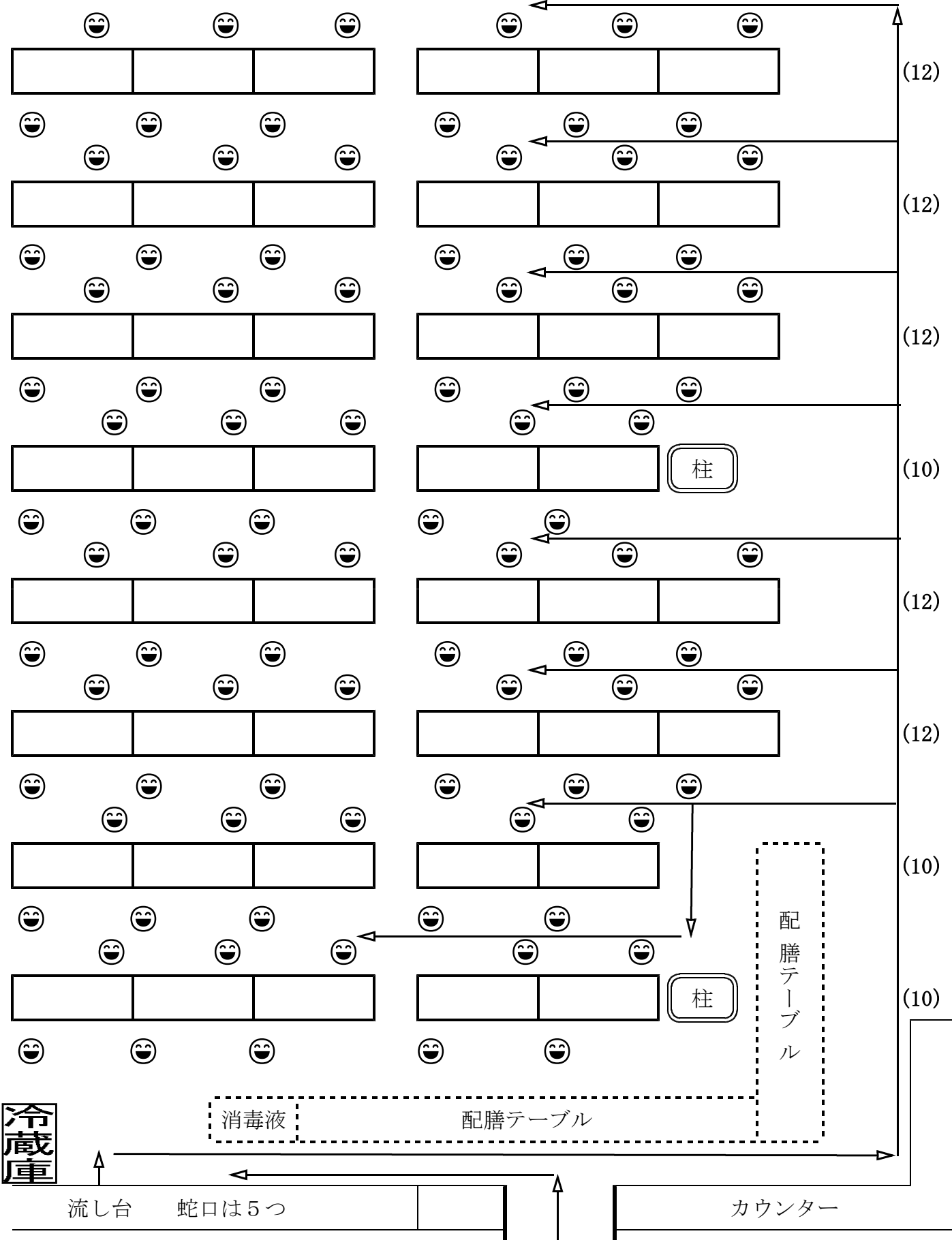
利用対象		児童・生徒・学生	引率者・指導者
学校 (教育課程内)	幼稚園・保育所・認定こども園	/	
	小学校・中学校・義務教育学校 (学年、学級)		
	高等学校 (学年、学級)		
	特別支援学校 (学部、学年、学級)		
	大学・高専 (授業・ゼミ・行政研修など)		
学校 (教育課程外)	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校 (部活動など)	/	半額免除 (410円/100円)
	大学・高専(※1～3年除く) (サークルなど)		減免なし (820円/200円)
	各種学校等		
社会教育関係団体等	子ども会	/	半額免除 (410円/100円)
	スポーツ少年団		
	少年団体（県青少年団体連絡協議会加盟） (ボーイスカウト・ガールスカウト・海洋少年団)		
	その他の少年団体 (主な構成員が子どもである団体：緑の少年団など)		
	P T A (親子研修など)		
	行政（市町村） (サマースクールなど)		
	その他の社会教育団体 (主な構成員が成人である団体：婦人会など)		
県の主催	行政（県） (教員初任者研修など)	/	全額免除 (0円/0円)
	少年自然の家の主催事業		
その他	障がい者等	/	半額免除 (410円/100円)
	その他の利用団体 (企業研修など)		減免なし (820円/200円)

※スマートフォンのアプリ等を用いて、身体障害者手帳等を提示していただくことも可能です。

※出前講座は無料です。使用料徴収の対象ではありません。

9 食堂テーブルレイアウト

← 座席につくときの動き (片付け時は逆) (☺座席)



☆1テーブル2人掛け (対角線上) としています。

☆座席は【90席】となります。なお、座席数を超えるご利用の場合は、ご利用の時間帯をずらしたり、ご利用の時間帯をずらしたり、会場を分けたりして対応させていただきます。

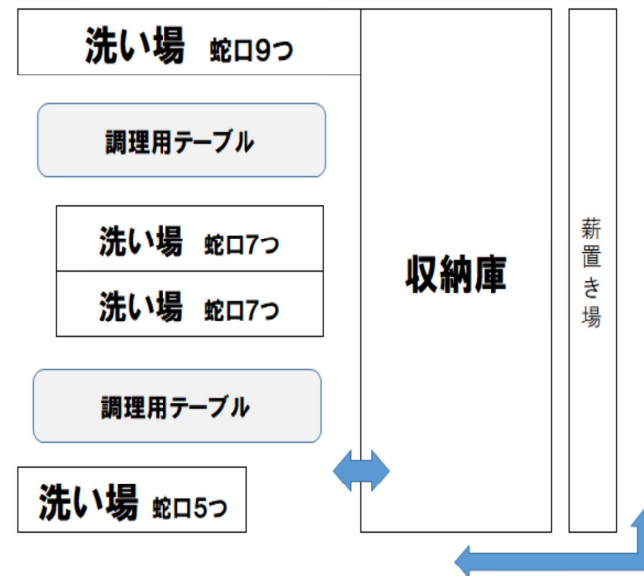
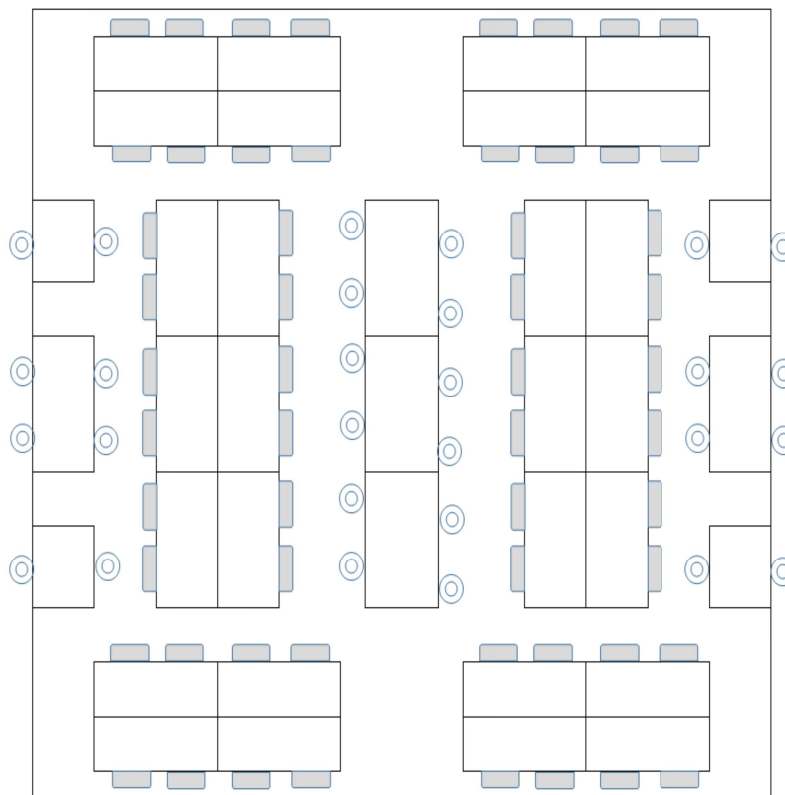
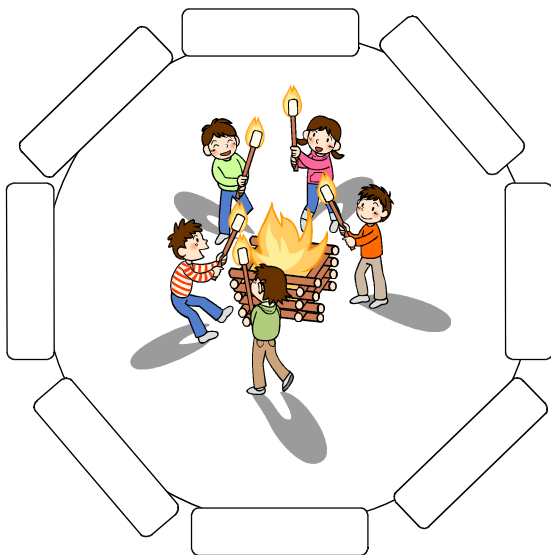
10 キャンピングセンターレイアウト



かま場
(18セットまで)



第1営火場
(長椅子18)



キャンピングセンター

- ・ 洗い場の蛇口は計28あります。
- ・ 調理用テーブルが不足する場合は、交流ハウスのテーブルの利用も可能です。

長根山交流ハウス


- ・ 中央のテーブルと丸いすの利用で84人程度着席できます。
- ・ キャンピングセンター内の調理用テーブルの利用も可能です。

1 1 熊対策対応マニュアル

大館少年自然の家

このマニュアルは、施設利用時および野外活動時における熊との遭遇を未然に防ぎ、万一遭遇した場合の適切な対処法を定めることで、利用者の安全を確保することを目的とします。

1 予防対策（熊を近づけないための対策）

分類	対策内容	留意事項
施設内	生ゴミ、調理クズ、食べ残しを厳重に管理する。	施設の指定する収集場所（熊がアクセスできない屋内や専用の保管庫）に保管する。絶対に屋外放置しない。
	調理器具や食器は使用后すぐに洗浄する。	食物の匂いを残さないように徹底する。
	利用者に食べ残し等の適切な処理を指導する。	寝室やテント内に食料や匂いの強いものを持ち込まないよう、事前に周知徹底する。
野外活動時	熊鈴、爆竹等の音の出るものや蚊取り線香、熊撃退スプレー、ポール等を携行する。	特に視界の悪い場所や沢沿い、早朝・夕方は複数人で行動し、大きな声で話すなど音を出す。
	 熊の出没情報や痕跡（足跡、糞、樹皮の剥ぎ取りなど）に注意する。	事前に最新の出没情報を確認し、活動ルートを選定する。痕跡を見つけた場合は、速やかに引き返す。
	行動範囲に注意する。	やぶや茂み、見通しの悪い場所への単独行動を避ける。
	ゴミや食べ物を放置しない。	お弁当等の包み紙なども含め、必ず持ち帰る。

2 警戒レベル（S～C）別の対処方法

- S** プログラム実施中に職員、引率、利用者が目撃した。
⇒ただちに活動を中止し、所内、又は安全な場所に退避する。
- A** 当日、活動前に活動場所付近で目撃情報があった。
⇒熊除け対策をしながら活動場所、プログラムを変更して実施する。
- B** 当日、活動場所から離れた場所で目撃情報があった。
⇒昼間は熊除け対策をしながら実施し、夜間の野外活動は中止する。
- C** 前日までに目撃情報があった。
⇒熊除け対策をしながら活動、野外キャンプについては状況による。

※関係諸機関（警察、消防、県教委、大館市）等から中止の指導・要請があった場合は、警戒レベルに関わらず中止する。

3 遭遇時の対処法（万一、熊に出会ってしまったら）

◎遠くに熊を発見した場合（熊がこちらに気づいていない、又は気づいていても距離がある場合）

- 引率している団体に静かに伝える。
- 静かに、速やかに、その場から離れる。
 - ・熊に気づかれないよう風向きに注意し（風下に行かない）、物音を立てずに来た道に戻る
 - ・走ったり、大声を出したりしない。
- 熊から目を離さない。
 - ・逃げる際も、熊の様子を常に確認する。
- 安全な場所まで戻り、所に連絡する。

◎近くで熊と遭遇した場合（熊がこちらに気づいている、又は至近距離の場合）

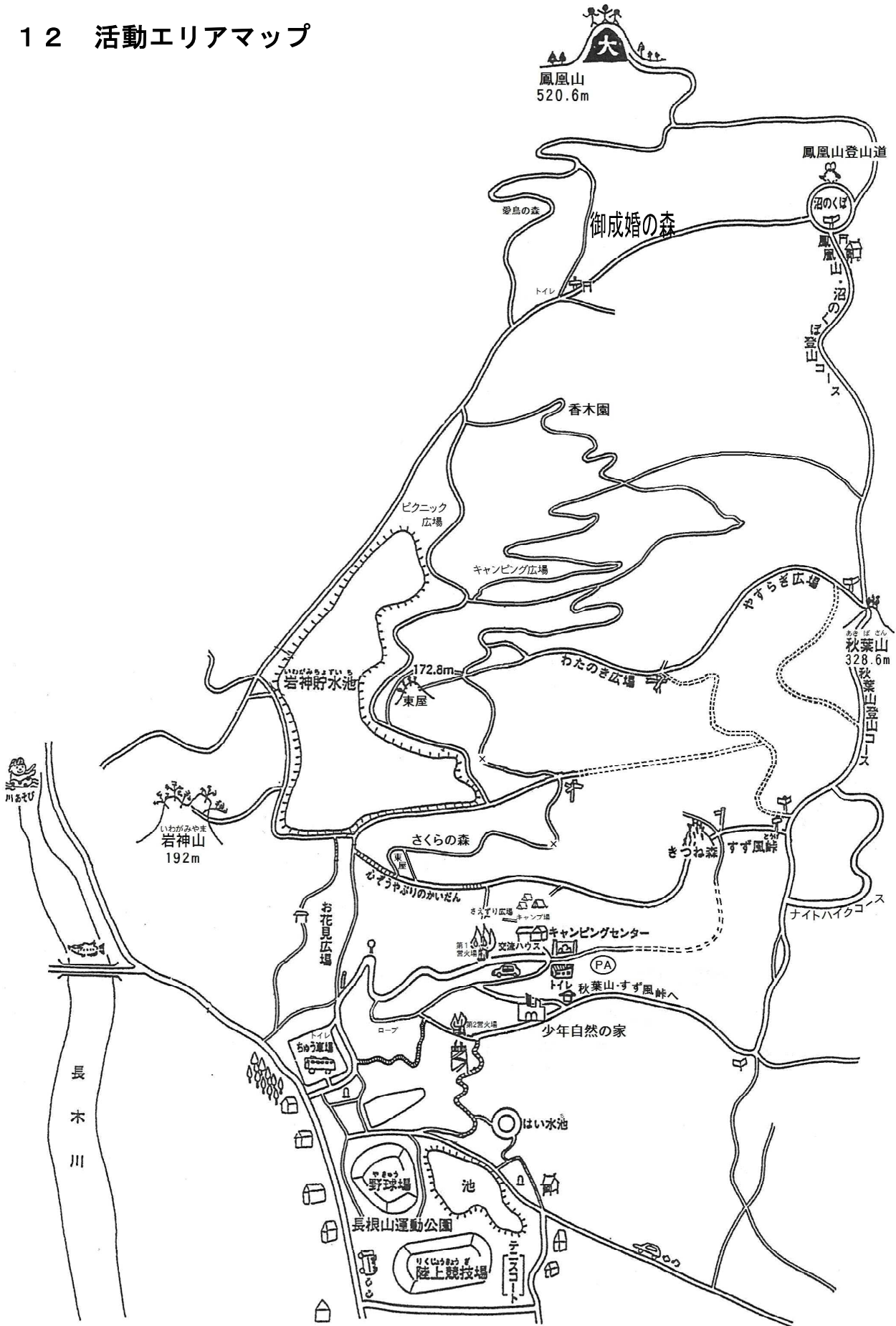
- 引率している団体に静かにするよう伝える。
- 落ち着いて行動する。
 - ・パニックにならず、大声を出したり、急に動いたりしない。
- ゆっくりと後ずさりしながら、静かに立ち去る。
 - ・熊に背中を見せて走らない。熊を刺激したり、捕食対象と誤認させたりする危険がある。
 - ・熊と目を合わせ続けるのも威嚇と受け取られる可能性があるため、時々目をそらしつつ、ゆっくりと後退する。
- 持ち物を静かに足元に置く。
 - ・熊の興味をそらすため、荷物を一つ静かに足元に置く（※ただし、必ずしも効果を保証するものではない）。
- 子どもたちを自分の背後に集め、静かにする。
 - ・急に動いたり、さわいだりしないように伝える。
- 攻撃するために近付いてきた場合は、熊撃退スプレーを使用する。

◎熊が突進・攻撃してきた場合

- 防御姿勢をとる（対処法 I：威嚇・好奇心による突進の場合）。
 - ・両腕で顔や頭を覆い、地面に伏せて動かない（死んだふり）。致命傷を避ける最終手段。
- 反撃する（対処法 II：攻撃の意図が明確な場合）。
 - ・熊撃退スプレーを使用する。
 - ・棒や石など使えるものがあれば、鼻や目をめがけて反撃する。ただし、これは非常に危険であり、最後の手段とする。



12 活動エリアマップ



13 ご準備いただきたい物・服装の一例

登山・ウォークラリー等の野外活動

【個人】

- 長袖・長ズボン（上は半袖＋アームカバーの組合せも可） 帽子 汗ふきタオル
- 雨具（合羽） 虫除けスプレー 滑らない靴 靴下（くるぶしが隠れる長さ）
- 軍手 飲み物（鳳凰山登山では500mLペットボトル3本程度） ハンカチ・ティッシュ 熊よけの鈴
- リュックサック

【団体】熊よけの鈴（貸出可）

- 救急セット ゴミ袋
- 手指消毒用アルコール

△「マダニ」にかまれないように予防をお願いします

- 1 肌を出さない 帽子着用 首にタオルを掛ける
- 2 虫除けスプレー（ディート、イカリジン成分入り）の使用
- 3 野外活動後に、体をタオル等で払う

館内での活動・宿泊時

【個人】（必要に応じてご準備ください）

- 内履き ハンカチ・ティッシュ マスク（食堂内） 着替え
- コップ 歯ブラシ 薬（いつも飲んでいるものがあれば）
- 洗面用具一式（浴室にボディソープやシャンプーはありません）

【団体】

- 利用の手引き（本冊子） 救急セット 体温計 汚物処理セット
- 蚊取りペーパーマット（本体は貸出可） ゴミ袋（持ち込みの飲食物があるとき）

野外炊事

【個人】

- 長袖・長ズボン（やけど防止のため） 滑り止め加工のない軍手（綿）又は革手袋
- 飲み物 汗ふきタオル 飲み物 調理係用マスク

【団体】

- スポンジ ふきん（食器用） ふきん（テーブル用） 水切りネット等
- 金たわし 食器用洗剤 クレンザー マッチ又はチャッカマン マスク（予備）
- キッチンペーパー（鍋、食器等の仕上げふき用）
- ゴミ袋（持ち込みの飲食物があるとき）

※食器用ふきん、スポンジ等は、係の人数分あると作業がはかどります。
キッチンペーパーは不足しないように多めにご準備をお願いします。

キャンプファイヤー

【個人】

- 長袖・長ズボン（やけど防止のため必ず） 軍手（やけど防止のため必ず） 虫除けスプレー等
- 懐中電灯 雨具（カッパ）※ 上着※ ※天候や季節に応じてご準備ください。

【団体】

- 救急セット マッチ又はチャッカマン CD等
- ※マイク・アンプ、CDプレーヤーと衣装は貸出可（物品借用申請不要）事前にご連絡ください。
衣装は火の神（大人用）と火の守（こども用5人分）を用意しています。
- トーチ棒 人数分＋儀式用6本
- ※長さ1～1.2mの棒に綿のタオル（化繊は不可）を巻き付け、針金等で固定します。
各家庭でトーチ棒を作った場合は、タオルが動かないか事前にチェックをお願いします。
<キャンドルファイヤーに必要なものは11ページをご確認ください。>

出前講座もご利用ください

<レクリエーション>

- AAP (あきたアドベンチャープログラム)
交流ゲーム

<野外活動>

- 川遊び・カヌー体験 (長木川)
- 鳳凰山登山・秋葉山登山
- トーチ棒作り
- 火起こし体験
- 天体観察

<野外炊事> (※)

- カレーライス
- ねじりパン
- キャンプ飯

<創作活動> (※)

- 竹のペン立て
- 絵付けオカリナ
- WA ROCK
- プラ板キーホルダー
- 万華鏡
- 竹とんぼ

<防災教育関連活動>

- テント (ソロテント) 設営
- ポリ袋調理 (炊飯、カレー等)
- 紙食器作り
- 紙スリッパ作り
- ロープワーク
- 毛布担架

(※) <野外炊事> や <創作活動> には、材料費がかかります。

2030 vision

みんなが
“笑顔・幸せ” (well-being) になる
わんパーク大館



公式Facebook



マスコットキャラクター
「大ちゃん (だいちゃん)」

交通案内図

